

令和3年4月13日

感染に強い学校づくり

瀬戸市教育委員会

学校における新型コロナウイルス感染症対策といたしましては、これまでも文部科学省の通知等に基づき適切に対応してまいりました。昨今、変異型ウイルスの拡大に伴い、さらなる対策が懸念されるところですが、瀬戸市教育委員会としては「感染に強い学校づくり」を合言葉に、校長会等で以下の内容を確認し、各校での周知徹底をはかっております。

令和3年4月校長会議での確認内容

- ・ 手洗い・マスク・換気の徹底
- ・ 児童生徒が濃厚接触者・陽性者となった場合の対応シミュレーション
- ・ 出席停止とする場合の確認

また、今後の対応として以下2点について準備を進めております。

1 修学旅行・野外活動

修学旅行・野外活動については、遠方に出かけての宿泊行事となりますので、各学校で実施日や行先等、県内外の感染状況を見据えながら検討しております。なお、学校が予定していた日に緊急事態宣言が出る等、実施できない場合のキャンセル料については、瀬戸市で負担することにしてあります。

2 安心安全な施設環境整備

児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、以下の施設環境整備を順次行ってまいります。

- ・ 手洗い水道を「自動水栓」に切り替える
- ・ トイレを和式から蓋付きの洋式に切り替える
- ・ 理科室・音楽室のエアコン設置

※ 理科室・音楽室については、状況により少人数指導が必要となった場合の活用も視野に入れております。

以上のような対策やタブレットの活用を講じながら、「感染に強い学校づくり」を推進し、子どもたちの学びを止めることがないよう努めていきたいと考えております。

